

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,600	22.0	206	△18.0	346	△15.3	234	△15.8
2019年12月期第3四半期	1,311	25.4	251	3.8	408	17.1	278	14.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 34百万円(△79.4%) 2019年12月期第3四半期 165百万円(△7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	35.73	34.92
2019年12月期第3四半期	42.48	41.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,009	1,489	74.1
2019年12月期	2,200	1,446	65.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,489百万円 2019年12月期 1,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高となることが確実な状況ですが、グローバルなIoT事業成長及び事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	6,749,000株	2019年12月期	6,714,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	161,625株	2019年12月期	161,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	6,568,264株	2019年12月期3Q	6,560,393株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、5Gをはじめとするデジタル基盤やIoT、ビッグデータ、AIといったデジタル技術の活用により、これまでデジタル化が進まなかった領域にもデジタル化の波が押し寄せ、サイバー空間とリアル空間が完全に同期し、あらゆるレベルにおいて変革や新たな価値の創造が生まれる社会へと向かっています（出典：総務省「令和2年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで当社グループは、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Internet of Everything）の世界を見据えたビジネス開発を、グローバルで継続して進めております。

当社マネジメントサービス事業の売上は、安定した完全サブスクリプションモデル（完全ストック型ビジネス）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されています。当第3四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく、引き続き解約率の低い月額課金案件の受注獲得を推し進めており、前年同期と比較して月額課金売上は277,063千円純増し、上場以来23四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり極めて堅調に推移しております。

またIoT分野においては、IoTエンジン「neqto:」をベースにグローバルでの展開を前提にした大手クラウドプラットフォームとの提携による統合ソリューションやOEMライセンスビジネスの開始を通じてエンタープライズ顧客へのサービス提供を可能にし、世界中の様々な機器・装置・機械に内蔵・搭載するための当社ライセンスビジネスの着実な深耕が進んでおります。また、需要の高い既存サービスに加え、グローバルでのライセンスビジネス開始に伴うIoTデータコントロールサービス及び自動制御システムの研究開発（R&D）業務の大幅な拡大を見込み、札幌に所在する当社サービス拠点であるコントロールセンターを来春追加開設（従来面積の約2.5倍に拡大）することを決定しております。なお、将来の事業成長に向け研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための先行投資を前年同期と比較し約269,000千円大幅増させております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,600,549千円（前年同期比22.0%増）、営業利益206,310千円（前年同期比18.0%減）、経常利益346,068千円（前年同期比15.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益234,712千円（前年同期比15.8%減）となりました。

なお、当社グループはマネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,344,261千円（前連結会計年度末比123,238千円減）となりました。これは主に、売掛金が増加（前連結会計年度末比106,595千円増）した一方で、現金及び預金が減少（前連結会計年度末比236,314千円減）したことによるものであります。

また、固定資産は、664,978千円（前連結会計年度末比67,737千円減）となりました。これは主に、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比89,949千円増）、敷金及び保証金が増加（前連結会計年度末比56,666千円増）、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が増加（前連結会計年度末比50,624千円増）した一方で、投資有価証券が減少（前連結会計年度末比269,746千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,009,239千円となり、前連結会計年度末に比べ190,975千円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、329,365千円（前連結会計年度末比161,443千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が減少（前連結会計年度末比158,322千円減）したことによるものであります。

また、固定負債は、190,398千円（前連結会計年度末比72,439千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比53,018千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、519,764千円となり、前連結会計年度末に比べ233,883千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,489,474千円（前連結会計年度末比42,907千円増）となりまし

た。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比234,712千円増）した一方で、その他有価証券評価差額金が減少（前連結会計年度末比189,710千円減）したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高となることが確実な状況ですが、グローバルなIoT事業成長及び事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,105,226	868,912
売掛金	282,880	389,475
その他	79,421	85,912
貸倒引当金	△28	△38
流動資産合計	1,467,499	1,344,261
固定資産		
有形固定資産	136,404	226,353
無形固定資産	37,933	37,970
投資その他の資産		
投資有価証券	368,521	98,775
敷金及び保証金	180,151	236,818
その他	10,244	65,600
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	558,377	400,654
固定資産合計	732,715	664,978
資産合計	2,200,215	2,009,239
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,511	127,723
1年内返済予定の長期借入金	75,996	72,017
未払法人税等	158,565	242
その他	146,736	129,382
流動負債合計	490,809	329,365
固定負債		
長期借入金	233,018	180,000
資産除去債務	583	551
その他	29,237	9,847
固定負債合計	262,838	190,398
負債合計	753,648	519,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,482	350,857
資本剰余金	305,955	310,330
利益剰余金	1,325,238	1,559,951
自己株式	△718,458	△718,458
株主資本合計	1,259,219	1,502,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,892	△1,817
為替換算調整勘定	△547	△11,392
その他の包括利益累計額合計	187,345	△13,210
新株予約権	2	2
純資産合計	1,446,567	1,489,474
負債純資産合計	2,200,215	2,009,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,311,726	1,600,549
売上原価	363,518	466,372
売上総利益	948,208	1,134,176
販売費及び一般管理費	696,473	927,866
営業利益	251,734	206,310
営業外収益		
受取利息	71	30
為替差益	—	1,146
投資有価証券売却益	160,464	134,238
その他	615	5,006
営業外収益合計	161,151	140,422
営業外費用		
支払利息	77	371
為替差損	3,315	—
自己株式取得費用	943	—
その他	32	292
営業外費用合計	4,368	664
経常利益	408,517	346,068
特別損失		
解約手数料	—	11,456
特別損失合計	—	11,456
税金等調整前四半期純利益	408,517	334,611
法人税、住民税及び事業税	129,870	89,049
法人税等調整額	△40	10,848
法人税等合計	129,830	99,898
四半期純利益	278,687	234,712
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,687	234,712

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	278,687	234,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,471	△189,710
為替換算調整勘定	△4,503	△10,845
その他の包括利益合計	△112,974	△200,555
四半期包括利益	165,712	34,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,712	34,157
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、マネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。